

# 原告団

遺族・CO裁  
判、災害責任  
追求、特集号  
第8号

遺族・CO患者  
家族会新役員決る  
三池遺族会とCO患者家族会の  
会長が石原政子さんです。ともに  
よろしくお願ひ致します。



一瞬のうちに地獄と化した三川鉦の坑底から、仲間の肩でそくそくと担ぎあげられてくる遺体。なかにはビニールの袋に入れられていた肉の塊さえあつた。それが、ひよつとすればこの遺体では？

## 遺族 池田とみさんの記録

### 遺族の手と手

太い手細い手遺族の手と手  
艶も消えた遺族の手  
夜には針仕事供たちの  
服縫えは  
おぼろげに思ひ出す遺族の手と手  
(一) 三番は(省略)

これはたしか、荒木栄作曲の  
「手」のうたで、  
「太い手細い手日焼けの手と手  
みみな生きてるわしらの手」  
雨にはあふれても、風にはおび  
えても、「たたかひ抜いてきたみ  
んなの手と手」という木末の歌  
に、別のそれをつけたものだと  
思う。だれにもわかるはず  
だ。

## 今生きていくてくれたら

### パチンコ狂の夫だったが

娘さんと共に  
とみさんは大正十四年四月六日  
生れたから、今年四十八才。三川

れを口ずかめば、ともすれば考え  
こもつて自分が不思議にはけ  
まされるのである。  
鉦炭じん大爆発後、三井鉦山が、  
遺族の生活対策の一つとして誘致  
した企業——三池縫製工場で働い  
ていた。  
住まひは大牟田市北辺部の町は  
すれ、橋の七百二十五番地。二人  
の娘さん(と)いっても、子どもは  
そのパチンコ狂も、三池闘争中  
まもるべきと願ひにのみ返って

く。二日二晩というもの一睡も  
せずに、病院にがんばって、よう  
として消息のわからぬ夫・政雄さ  
んを待ち続けたのだ。

夫・政雄さんは、大正九年の生  
れだから、妻のとみさんより五つ  
と上りだった。昭和二十一年五  
月七日三川鉦入社、仕繕工として  
働いた。  
政雄さんは、大のパチンコ狂だ  
った。いや、飯よりパチンコ—  
といった方が、より適切ないい方  
かも知れない。  
そのため、妻のとみさんは泣か  
やと健康をとりもとして出勤  
冷たかったね」と、思わず手をと  
らざるを得なかった。なるほどそ  
の手はすっかり冷えてしまっ  
ていて、政雄さんが、も早や住む  
世界を異にしているようにも  
ない現実を伝えてくるだけだっ  
た。  
怒りと悲しみのなかにも、いよ  
いよ政雄さんの屍を野辺に見送り  
なければならぬときがきた。そ  
のとみさんは、生前パチンコ  
好きだった政雄さんがよく口にし  
ていたことを思い出したのだ。  
「もし俺が死んだら、この手  
にパチンコ玉をまきつけてくれ」  
と、そういつていた夫。まわりの  
人たちが気づかなくて、「どうした

この二人だけ」といっしよの暮ら  
しである。  
長女の芳子さん二十四才。次女  
の幸子さん二十一才。芳子さんは  
街のある商店で働き、幸子さん  
は、東京の某企業に働いているう  
ちに心を結ばれた信崎の一青年と  
の間に婚約がととのい、十月には  
よむこひの目が待っている。  
幸子さんは実はそのために帰っ  
てくるもので、母親のとみさんは  
やがてとどいていく幸子さんに、  
せめて手縫いの結婚衣装を着せて  
やりたいばかりに、わざわざ和裁  
の稽古までしたというが、「いまま  
主人が生きていてくれさえしたら  
女親の自分だけが一人で心配する  
こともなかったのに……」と、あ  
の爆発のことを思い出しては、三  
井独自資本に対する新たな怒りを  
燃やすのである。

パチンコ狂の夫 来た死の連絡  
昭和三十五年十一月、三百十三  
日のストライキをもって闘われた  
三池闘争が終りを告げると、それ  
を合図のように、政雄さんは思ひ  
も寄らぬ大病に倒れてしまった。  
盲腸炎と胃潰瘍を併発、三井大領  
町病院で二度にわ大手術を受けた  
ける身になったのである。以後、  
長い長い入院生活……

「どうか主人の遺体が、ビニール  
の袋に入れられた肉の塊であつた  
りしてくれぬように。せめて五体  
が満足にそろっててくれるよう  
に」と、それを祈りたい気持ちで  
柩の蓋を開けたのだ。さいわ  
い目の前に現れた夫・政雄さん  
の遺体は、手足もそろい、きれいな  
体をしていた。それでも、三日  
三晩坑底の泥水のなかにつかっ  
いたのだと聞くと、「父ちゃん、  
冷たかったね」と、思わず手をと  
らざるを得なかった。なるほどそ  
の手はすっかり冷えてしまっ  
ていて、政雄さんが、も早や住む  
世界を異にしているようにも  
ない現実を伝えてくるだけだっ  
た。

あれから、早や十年。あのとき  
十五才で、中学三年生だった幸子  
さんがいまでは二十四才。わす  
か十一才で小学五年生だった幸子  
さんが二十一才。しかも幸子さん  
は、あと一カ月もすれば他家の嫁  
としてとどいていく身である。  
こゝまで成長した二人の子ども  
の、まぶしいばかりの青春に輝く  
姿を見ては、「主人が生きていて  
くれたら……」と、思わずにはいら  
れないとみさん。

き、特に裁判闘争に踏み切った新  
年度に向けて、その運動を強める  
ための新役員を決定致しました。  
会長を紹介しますと、三池遺族  
会が溝口生松さん、CO患者家族  
の会が石原政子さんです。ともに  
よろしくお願ひ致します。

「あなたの気持はわかるけど、  
塊だけでもいい家に戻って来るか  
も知れん。帰ってきても、家のな  
かが真っ暗で……」と、親類の  
者からいわれてハッと気を取りな  
おし、社宅(その頃は、まだ小浜  
南社にいた)のわが家に戻った  
のは何と三日ぶりのことだったと  
いう。

あれから十年  
あれから、早や十年。あのとき  
十五才で、中学三年生だった幸子  
さんがいまでは二十四才。わす  
か十一才で小学五年生だった幸子  
さんが二十一才。しかも幸子さん  
は、あと一カ月もすれば他家の嫁  
としてとどいていく身である。

悲しいにつけられしいにつけ、  
ともすれば両眼から涙が湧き出そう  
になる涙をけんめいにこらえる池  
田とみさん。  
思えばあのとき政雄さんの遺体  
は、社会党員で元大牟田市議員  
を務めたこともある辻沢修功さん  
の遺体とすしよにあがって来た  
のだった。そのことから、とみ  
さんにすれば、真つ暗な坑底で息  
絶える最後の最後まで、夫  
が必ずや三池労働員として立派に  
行動したに違いないことが確信さ  
れ、この夫に対する確固とした誇  
りが、その後思ひも寄らぬ苦難を  
耐え抜きながら闘うことを嫌なく  
されたとみさんを、どれほど支  
えてくれたことだろう。